

令和3年度小松島市重要事業実施に伴う政策等の形成過程説明シート

事務事業名	準用河川維持管理事業			整理番号	— —
				担当課係	都市整備課
事業予算費目	款	8	土木費	記入者職・氏名	
	項	4	河川費	内線等	223
	目	1	河川維持費	事業区分	経常事業
	大事業	1	準用河川維持管理事業	事業期間	令和3年～ 年度
事業の実施主体	市（委託・補助事業含む）				
根拠法令等	河川法				

■事業の概要・全体計画等（政策の発生源、提案に至るまでの理由）

近年多発するゲリラ豪雨や台風による大雨により、浸水被害の危険性が高まっている。水害から生命と財産を守るため、河川の有する機能の維持や役割について一層強く求められている。本事業では、市が管理している準用河川の堆積土砂の撤去や繁茂した草木の伐採を実施するなど、適切な維持管理を行い、河川が持つ本来の治水機能を維持し浸水被害の軽減を図るものである。

事業の内容	手段（計画している主な活動の内容、手段、手順）
	準用河川の通水を阻害する堆積土砂の撤去や繁茂した草木の伐採等を行う。
事業の目的	効果（事業実施によってどういう状態・結果に結びつけるか）
	河川本来の治水機能を確保し、浸水被害の軽減を図る。

■総合計画(前期基本計画)との整合性

事業目的が総合計画(前期基本計画)上の施策に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> いる	総合計画(前期基本計画)上の位置付け	基本目標	1. 安全・安心なまちづくり
	<input type="checkbox"/> いない		大項目	① 安全・安心で快適に暮らせるまちづくり
			中項目	1-1安全・安心な日常生活の確保
			小項目	市民の生命、財産を守る雨水排水対策
(理由) 【市民の生命、財産を守る雨水排水対策】降雨災害に強い都市づくりの推進 「雨水浸水被害から市民の皆さんの生命と財産を守るため、降雨災害に強い都市づくりを進めます。」との内容に合致しており、総合計画との整合性が図られている。				

■他の自治体の類似する政策との比較検討

他の自治体においても、管理する河川の浚渫等の維持管理に努めている。

■市民参加の実施の有無とその内容 (有) ・ 無) ○を入れてください。

事業の対象	対象（誰、何を対象にしているのか）
	準用河川
事業の意図	意図（事業の狙いはなにか、対象をどう変えるのか）
	準用河川の適切な維持管理を行い、浸水被害の防止、軽減を図る。
事業に対する関係者から要望等意見はどのようなものが寄せられているか	（市民、議会、事業対象者、意識調査等事業関係者からどのような意見・要望があるか）
	河川内の堆積土砂や草木の繁茂によって流下を阻害している現状について、適切な維持管理を行うよう、市民や議会から強い要望がある。
事業を取り巻く状況等は、今後どう変化しますか？	（社会状況、根拠法令、規制緩和、周辺状況等は今後どのように変化していくか）
	近年多発する集中豪雨や台風による大雨によって河川の氾濫や浸水の危険性が高まっている。

■事務事業に係るコスト・財源措置・将来に渡るコスト計算、有効性について

		全体計画	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降	最終年度	
全体コスト	財源内訳	国 県 支 出 金	0	0	0	0		
		地 方 債	48,000	12,000	12,000	12,000	12,000	
		その他（利用者負担等）	0	0	0	0	0	
		一 般 財 源	0	0	0	0	0	
	A 直接事業費（千円）	48,000	12,000	12,000	12,000	12,000	0	
	人件費	正 規 職 員 数	0.40 人	0.10 人	0.10 人	0.10 人	0.10 人	人
		職 員 人 件 費 ①	240	60	60	60	60	
		臨 時 ・ 嘱 託 職 員 数	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	人
		臨 時 ・ 嘱 託 職 員 の 賃 金 等 ②	0	0	0	0	0	
	B 人件費計（千円）①+②	240	60	60	60	60	0	
A + B	48,240	12,060	12,060	12,060	12,060	0		

有効性について	① この事務事業を行わない場合の影響はありますか？	<input checked="" type="radio"/> ある a <input type="radio"/> ない	理由	土砂の堆積や草木の繁茂による通水断面の阻害、治水機能の低下によって、河川の氾濫や浸水被害の発生が予想される。
	② 類似事業との整理統合はできないか？	<input checked="" type="radio"/> できない a <input type="radio"/> できる	理由	側溝清掃事業により道路側溝やその流末排水路等の清掃を実施しているが、準用河川は事業規模が大きく、財源等も異なるため、整理統合は困難である。
	③ 成果をさらに向上させる余地はありますか？	<input type="radio"/> ない a <input checked="" type="radio"/> ある	理由	成果の向上には官民協働による維持管理体制の構築が必要不可欠である。

◎改善・効率化・見直しの方向性 ※上記において a を選択した場合、必ず記入してください。

有効性	①	
	②	
	③	土木施設アドプト事業への参加の啓発、PRを行うなど、官民協働による維持管理体制の構築に努める。

所属長による総合的なコメント

浸水被害の防止、軽減に向け、面的に実施している側溝清掃事業に加え、その流末となる準用河川の適切な維持管理を一体的に行うことにより、なお一層の事業効果の発現を図る。また、土木施設アドプト事業制度により地元住民によるボランティアを募るなど、官民協働による維持管理体制の構築に努める。